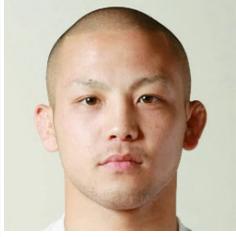
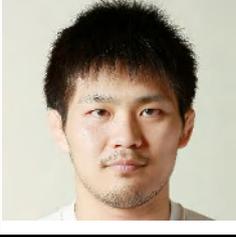
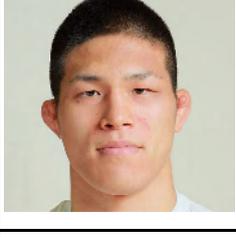


2013年 世界選手権代表選手(男子グレコローマン)

階級	選手名・略歴	
55		<p>田野倉翔太(たのくら・しょうた=クリナップ) 初出場 1990年8月11日、東京都生まれ、22歳(大会時23歳)。東京・自由ヶ丘学園高～日体大卒。2011年に全日本大学グレコローマン選手権で優勝し、全日本選手権2位。2012年は全日本学生選手権と全日本大学グレコローマン選手権で勝ち、全日本選手権で初優勝。今年3月のハンガリーカップで優勝し、4月のアジア選手権でも2位と国際舞台でも実力を発揮し始めた。158cm。</p>
60		<p>倉本一真(くらもと・かずま=自衛隊) 初出場 1986年年10月29日、滋賀県生まれ、26歳。滋賀・日野高～山梨学院大卒。2007・08年全日本大学グレコローマン選手権優勝、2010・11年全日本選手権2位などを経て、2012年全日本選手権で初優勝。国際舞台では、2008年世界学生選手権2位、2012年アジア選手権2位など。今年4月のアジア選手権は初戦敗退に終わった。163cm。</p>
66		<p>清水博之(しみず・ひろゆき=自衛隊) 初出場 1985年12月18日、滋賀県生まれ、27歳。滋賀・日野高卒。高校時代は全国大会無冠ながら、2009年全日本選手権で優勝を達成。2012年は全日本選抜選手権74kg級で制した後、全日本選手権は66kg級へ戻して優勝。国際舞台でも2010年サンキスト・オープン優勝、2011年アジア選手権3位など実力を発揮している。今年4月のアジア選手権は3位。全日本選抜選手権で優勝を逃しながらも、プレーオフで勝って世界選手権へ。176cm。</p>
74		<p>金久保武大(かなくぼ・たけひろ=ALSOK) 3大会連続3度目の出場 1986年7月1日、神奈川県生まれ、26歳(大会時27歳)。東京・東海大付高輪台高～日体大卒。高校時代まで柔道選手。日体大へ進んでからレスリングを始め、2008年全日本学生選手権優勝。2010年には全日本選抜選手権で勝ち、世界選手権でも5位に入賞。2011年も世界選手権に出場した。2012年はアジア選手権2位のあと、ロンドン・オリンピック最終予選出場のチャンスをもたらしたが、生かせなかった。174cm。</p>
84		<p>岡太一(おか・たいち=自衛隊) 2大会連続2度目の出場 1988年4月5日、鳥取県生まれ、25歳。鳥取・鳥取中央育英高～柘大卒。2009・10年全日本学生選手権優勝、2010年は全日本大学グレコローマン選手権のほか、フリースタイルの2大会も勝って学生四冠王を達成し、全日本選手権でも優勝。2011年は世界選手権に出場したが、ロンドン・オリンピックは逃した。今年アジア選手権に出場して5位。182cm。</p>
96		<p>齋川哲克(さいかわ・のりかつ=両毛ヤクルト販売) 初出場(84kg級と合わせて3度目) 1986年3月11日、栃木県生まれ、27歳。栃木・足利工高～日体大卒。2007年に全日本大学グレコローマン選手権優勝など学生四冠を制覇。84kg級で2009・10年に全日本選抜選手権で優勝し、2010年アジア選手権2位などの成績を残す。2011年に階級を上げて全日本選手権優勝。翌年のロンドン・オリンピックに出場した。186cm。</p>
120		<p>前川勝利(まえかわ・しょうり=早大) 初出場 1992年5月24日、北海道生まれ、21歳。茨城・霞ヶ浦高卒。187cm。2010年に高校五冠を制覇。2011年には大学1年生で全日本選抜選手権優勝、全日本選手権2位の快挙。けがで戦列を離れた後、2012年にグレコローマンの学生2大会に勝ち、全日本選手権優勝。187cm。</p>